

[一部]福岡発～現代と古典のミライ～



木偶舎勘緑

元(財)文楽協会技芸員、人形座「木偶舎」主宰
1979年二世桐竹勘十郎(人間国宝・故人)に入門
人形浄瑠璃の普及・発展と文楽人形の新しい可能性を求めて、2012年1月、33年間在籍した
文楽座を辞しフリーの人形遣いとなる。
主宰する「木偶舎」では、各地で自然との融合や他ジャンルの音楽・演劇との接点を求めた
文楽人形の可能性を追求し、劇場の枠を越えた独自の野外劇場を企画・演出している。

筑前艶恋座

2012年5月設立。
人形遣いの勘緑が代表を務める、国内初の琵琶による人形浄瑠璃一座。
名前の由来は、2011年に福岡市南区と九州大学HMEとの連携企画事業
として好評を博した「艶競里恋唄(つやくらべさとのこいうた)」という
演目からの引用。

このときのスタッフ・キャストが筑前艶恋座のメンバーとなり、
その後、2回のワークショップなどにより新メンバーが加入。

古典作品のみならず、現代にも訴えかける作品を創作することも視野に入れて、
多くの市民が参加し、楽しんで見ることが出来る人形浄瑠璃を発信していきたい
と考えている。

(これまでの主な出演舞台)

- 2013.3 筑前艶恋座 旗揚げ公演(ぼんぷらぎ)
- 2014.8 河合塾福岡校、小倉校 文化講演会
- 2015.7 筑前艶恋座 第2回公演(大橋ゆめあーる)
- 2016.1 人形浄瑠璃と筑前琵琶の共演 (伊都文化会館大ホール)
- 2016.1 福岡県父母と教師の教育交流会「第1部 日本の古典芸能の魅力」(嘉穂劇場)
- 2016.8 河合塾福岡校、小倉校 文化講演会
- 2016.12 清和文楽+筑前艶恋座の響演(パピオビールーム)

その他、カフェ、本屋、屋外公演など多数。また、ワークショップも開催している。



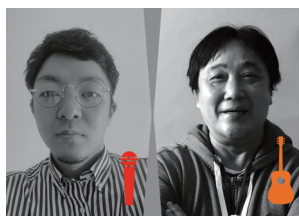
尾方蝶嘉

筑前琵琶保存会師範/筑前琵琶嶺清流師範
筑前琵琶嘉の会主宰,日本琵琶楽協会会員
西南学院大学法学部卒・洗足学園音楽大学附属現代邦楽研究所卒
13歳より筑前琵琶を嶺旭蝶・青山旭子に師事、琵琶による現代邦楽を田原順子に師事
古典を深めると共に新たな琵琶曲の作詞作曲を手がける。寺社仏閣での奉納・心象風景、自然・文学や
美術作品から着想を得た作品の制作・異分野・海外アーティストとの共演・音源提供・教育機関・芝居・
子どもへの琵琶指導に力を注ぎ演奏活動は多岐に渡る。
本邦初の筑前琵琶による人形浄瑠璃座「筑前艶恋座」の座付奏者。
福岡市在住



なかしま拓

アポロシアターやTEDxへの登壇経験をもつグローバルアーティスト
「手笛」という楽器を使わず手で奏でる、そのふくよかな音色は聴くものに
癒しと驚きを与える



みもじゅん

中洲のカラオケバーウイリーウォンの
マスターせおもんと常連客ミモザの
ユニットコンビです。
〇〇年引き続けたギター、バーで鍛え
た歌声で
皆さんに元気を与えます。



松木久美子(うずめ)

従来より音楽ダンスなど学び、
エアロビクスインストラクターとして活動始める。
芸術の視点からもフィットネスを見つめ、
ある時は「ダンスパフォーマー」
ある時は「お絵描き人」として、
意欲的に活動している
'多方向性発信アーティストインストラクター'

[二部] 音楽人形演劇「True Life」



おおたか静流/Sizzle Ohtaka

ノンジャンル無国籍な独自の路線で音楽活動を展開している。「声のお絵描き」主宰
NHK Eテレ「にほんごであそぼ」にて歌唱。NHK「未解決事件」主題歌
映画「シコふんじやった」「ズッコケ三人組」「墨攻」「螢火の杜へ」主題歌、
ゲーム音楽「ファイナル・ファンタジーIII」「Roaming Sheep」「The Breeze」歌唱、
リレハンメル冬季オリンピック閉会式「小諸馬子唄」、東日本大震災追悼公演「国連」
日本広告業界最優秀歌唱賞受賞
The World's Best Radio and television Advertising from international
broadcasting awards.America



住友紀人

E作曲家・サクソ・EWI奏者
生年月日:1964年2月27日/出身地:徳島県/出身校:パークリー音楽大学
略歴:87年フジサンケイグループ主催「夢工場」のエントランスホール担当音楽プロデューサーとしてデビュー。
その後マイケルブレッカーと共にAKAI プロフェッショナルのサウンドアドバイザーとして開発に携わり
EWI(ウインドシンセサイザー)の第一人者として名を広める。数々の著名なミュージシャン達との
セッションを経て参加したイタリアンプログレッシブロック界の巨匠、ジャンニ・ノセンチのソロアルバム
「SOFT SONGS」は米ビルボード誌に掲載され同アルバムで競演した坂本龍一氏と共に高い評価を受ける。
作曲家としては映画「ホワイトアウト」で脚光を浴び、同映画で日本アカデミー優秀音楽賞を受賞。
テレビドラマにおいても「やまとなでしこ」、テレビ朝日開局45周年記念ドラマ「弟」、「熟年離婚」、
「アンフェア」、NHK朝の連続テレビ小説「つばさ」、「沈まぬ太陽」などの音楽を相次いで担当し、
同作品では2度目の日本アカデミー優秀音楽賞と最優秀作品賞を受賞。
2009年アレンジ、サウンドプロデュースで参加した、いきものがかり「ハジマリノウタ」は日本レコード大賞
最優秀アルバム賞を受賞。その後、歴史的な大ヒットを記録した「テルマエ・ロマエ」シリーズや「
ドラゴンボール」シリーズ、フジテレビ月9ドラマ「デート」等は記憶に新しい。
2014年よりNATHAN EAST Band of Brothersのオリジナルメンバーとしてサクソとキーボードを担当。
作曲活動の傍ら、世界各国を歴訪している。



渡辺庸介

1986年7月1日生まれ、京都府綾部市出身。
タンバリンを主軸に、あらゆる打楽器からボイスパーカッションまで様々な音色を駆使した、
ジャンルにとらわれない柔軟かつ大胆なプレイが持ち味。
幼い頃から和太鼓に親しむ。2005年、大学時代に北欧音楽バンド『Drakskip』を結成し、
パーカッションと出会う。卒業後ほどなくしてプロミュージシャンとしてのキャリアをスタート。全国で演奏を行う。
2015年に拠点を東京に移してからはジャンルの壁を超えて活動の幅を広げ、様々なミュージシャンと共演。
新たなバンドにも数多く関わり、現在では年間約200本のライブを行う。
これまで国内のみならず、アメリカ、フランス、スペイン、ブラジル、メキシコ、スウェーデン、フィンランドなど、
様々な国と地域で演奏。
土着的な民族音楽から歌モノポップスまで、ジャンルを問わず幅広い活動を続けている。



野沢香苗

女優として出演した舞台上「二胡」と出会い、魅せられ、以来二胡奏者として活動を続ける
中国の民族楽器としての二胡にとらわれず、様々なジャンルの音楽に取り組み、その独特の艶やかな音色は
聴く人の心を魅了している
2007年1月、日本人二胡奏者として初のメジャーデビュー
歌っているかのように評される演奏はもちろん、オリジナリティ溢れる作曲能力と魅せるステージング、
文化放送「リッスン？」のパーソナリティーを務めていた経験を活かしたトーク力で、
幅広い世代から支持を得ている
2014年よりサウンドプロデュースに作曲家の寺嶋民哉氏を迎え、物語を音楽で綴るアルバム制作を開始。
今年3/24にはその完結編となる第三弾のアルバム「Arkadia/ アルカディア」を発売。
その独自の世界観は国内外問わず注目を集めている。
また、近年では二胡だけでなく、2018年に初のヴォーカルアルバム「空の記憶」を発売するなど
歌での表現にも力を入れており、その歌声はファンのみならず音楽家からの評価も高い。
台湾や上海、2018年より2年連続フィンランドでもコンサートを行うなど海外へ向けても精力的に活動中。